

社会福祉系学会連合ニュース（2019年10月号）

ご挨拶

日本社会福祉系学会連合会長 木原 活信

昨年に引き続き、今年も日本列島は度重なる災害に見舞われました。特に今年は台風による甚大な被害がありました。ご存じの通り、台風17号により大分大学で行われた日本社会福祉学会の2日目中止にならざるを得ない状況になりました。とりわけ、千葉を中心に関東圏を襲った台風15号と、つい先日の台風19号は、被害が大きく、今も深刻な状況が続いています。風だけでなく、豪雨、浸水、土砂崩れなど甚大な自然災害は広域に及びました。これまであまり自然災害とは無縁で被害が少なかった地域でも想定外の甚大な爪痕を残し、日本中が驚きと不安と悲しみに包まれました。

被害にあわれた地域の方々に、そしてその会員の皆様に、日本社会福祉系学会連合会長として、心よりお悔やみ申し上げます。まだ復興途上であることも鑑みて、早期の復興を切にお祈りしたいと思います。

日本社会福祉系学会連合としても、これらの災害とその復興への支援について真摯に考えていくことができれば幸いです。そしてその対策や取り組みの成果も、未来への知の財産として分かち合っていくことができればと思います。学会連合は、これまでずっと災害福祉に関するアーカイブの充実に取り組んできておりますので、会員各位の災害福祉に関する文献刊行の際にはぜひ事務局までお知らせ下さい。

災害だけでなく、目下、社会福祉系の諸学会としましては、少子高齢化人口減少社会にあって、女性、若手、シニア、障がい者、被災者、生活困窮者、研究職以外の常勤者など多様な会員の研究を支援するニーズがとみに高まっていることを自覚しております。学会連合としてもこのことを重く受け止めて、加盟学会から多様な会員への研究支援の実態や課題を明らかにするための調査をこのたび実施したところです。9月に日本社会福祉学会の大分大会で公開研究会を開き、そこでその結果を公表しようとしたのですが、先述した通り、台風17号により中止となりました。この議題は、貴重なテーマであるため、来年の3月に仕切り直して改めて公開研究会を開催し、これらの調査結果を報告させていただきます。またそこでは障害学会における先駆的な合理的配慮の取り組みについても伺い、それらをもとに運営委員会および各学会としても取り組みうる支援について活発に議論したいと思っています。改めて正式に案内させていただきますので、どうぞふるってご参加いただければ幸いです。

今後とも日本社会福祉系学会連合へのご協力、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

2018年度 日本社会福祉系学会連合 事業報告

1 会員等の活動に関する情報交換

(1) HPの更新および広報活動

HPにおいて加盟学会の大会等に関する情報を掲載（月1回更新）したほか、震災関連のシンポジウム等の最新情報や災害福祉アーカイブを適時、掲載・更新した。

(2) 日本社会福祉系学会連合ニュース（電子版）の刊行

「社会福祉系学会連合ニュース」の2018年10月号および2019年3月号を刊行し、本連合HP上で公開したほか、加盟学会等に配信した。ニュースでは、加盟学会の大会等に関する情報等を掲載した。

2 シンポジウム等の開催

「社会的つながりが弱い人への支援のあり方について」をテーマに、下記のとおり日本学術会議と共催で公開シンポジウムを開催した。

テーマ：「社会的つながりが弱い人への支援のあり方について」

開催日時：2019年1月14日（月・祝）14：00～17：40

開催場所：日本学術会議講堂

日本学術会議提言：岩崎 晋也（日本学術会議会員・社会福祉学学科会委員長
・法政大学現代福祉学部教授）

講演：「社会的つながりが弱い人への支援のあり方について—社会福祉学の視点から—」
：ジャネット・ウォーカー（リンカーン大学保健・社会福祉学部副学部長・
国際ソーシャルワーク学校連盟イギリス代表理事）

シンポジスト：「イギリスにおける孤独問題と社会的支援」

：高木 美智代（前厚生労働副大臣）

勝部 麗子（社会福祉法人豊中市社会福祉協議会福祉推進室長）

奥田 知志（NPO 法人抱樸理事長）

コメンテーター：岩崎 晋也、ジャネット・ウォーカー

閉会の挨拶：木原 活信（日本社会福祉系学会連合会長、同志社大学社会学部教授）

3 災害福祉アーカイブ事業について

社会福祉学領域における震災関連の研究論文や報告書などを収集し、学会連合HP内にある災害福祉アーカイブの構築を継続して行った。（http://jaswas.wdc-jp.com/saigai_archive/index.html）。

なお、本事業については2018年度事業計画案の段階まで「東日本大震災への対応」として記載をしていたが、近年自然災害が多発していることに鑑みて、収集の対象を東日本大震災に限定しないものとし、今後は「災害福祉アーカイブ事業」と称する。

4 補助金制度の運用について

補助金制度について、2018年度は4月末日を一次締切、8月末日を二次締切として募集を行った。その結果、下記の学会より応募があったため、運営委員会での審査の結果、補助金の支給を実施した。

- 1) 日本職業リハビリテーション学会
- 2) 日本福祉介護情報学会
- 3) 日本精神障害者リハビリテーション学会

5 運営委員会の開催

日本社会福祉系学会連合の運営をスムーズに行うため、運営委員会（5月19日、7月21日、1月14日）を開催した。運営委員会委員は以下のとおりである。

会長	木原活信（日本社会福祉学会）
事務局長・学術会議担当	和気純子（日本社会福祉学会）
会計担当	渡辺裕一（日本地域福祉学会）
広報担当	小櫃俊介（日本社会福祉学会）
庶務担当	後藤広史（日本社会福祉学会）
研究担当	高山恵理子（日本医療社会福祉学会）
研究担当	小川晃子（日本福祉介護情報学会）
研究担当	吉村彰史（日本仏教社会福祉学会）
監事	永山誠（日本福祉文化学会）

6 総会開催

2018年度総会を2018年5月27日に東京通信大学 新宿駅前キャンパスにて開催した。

2019年度 日本社会福祉系学会連合 事業計画

1 運営委員会の開催

学会連合の事業を円滑に遂行するために、運営委員会を年3回程度開催する。

2019年度の学会連合運営委員は下記の9名で担当する。

会長	木原活信（日本社会福祉学会）
事務局長・学術会議担当	和気純子（日本社会福祉学会）
会計担当	北本佳子（日本地域福祉学会）
広報担当	小櫃俊介（日本社会福祉学会）
庶務担当	後藤広史（日本社会福祉学会）
研究担当	高山恵理子（日本保健医療社会福祉学会）
研究担当	小川晃子（日本福祉介護情報学会）
研究担当	吉村彰史（日本仏教社会福祉学会）
監事	永山誠（日本福祉文化学会）

2 総会開催

2019年度総会は、2019年5月26日（日）に開催する。

開催日時：2019年5月26日（日） 17時10分～17時50分（予）

開催場所：東洋大学 白山キャンパス 1号館3階1303教室

3 加盟学会およびその会員等の活動に関する情報交換

1) ホームページの充実

本連合のホームページを活用し、加盟学会との更なる情報共有に努める。加盟学会の大会等に関する情報を掲載（月1回更新）するとともに、本連合および日本学術会議等の最新情報を適時、掲載する。

2) 電子版ニュースレターの発行

学会連合の活動内容を広く加盟学会およびその会員等に周知するため、年2回、電子版ニュースレターを発行する(10月、3月予定)。

3) ホームページにおける災害福祉アーカイブの作成(継続)

2013年より「災害福祉アーカイブ」を連合ホームページ内に設け、震災関連の研究論文、報告書などを収集している。今年度も引き続き情報の収集、掲載の工夫を行うとともに、加盟学会およびその会員等に一層の協力を求め、収集・活用方法についても検討する。

4 加盟学会の活動に対する補助

日本社会福祉系学会連合の加盟学会が活性化することを目的として、外部の専門家に講演等を依頼する場合の旅費の一部を補助する「補助金制度」を2017年度に創設した。

2019年度も引き続き実施し、2018年度以前と同様に、補助金の額は一回5万円、補助金を受ける学会は毎年5学会を限度とする。

5 シンポジウム等の開催

日時: 2019年9月22日(日) 12:00~13:00(予定)

会場: 大分大学旦野原キャンパス 教育棟200教室

テーマ: 多様性時代における研究支援と学会のあり方

趣旨文: 少子高齢化人口減少社会にあって、学会においては、女性、若手、シニア、障がい者、被災者、生活困窮者、研究職以外の常勤者など多様な会員の研究を支援するニーズが高まっています。本公開研究会では、障害学会における合理的配慮の取り組みについて伺うとともに、加盟22学会への調査から、多様な会員への研究支援の実態や課題を明らかにし、日本社会福祉系学会連合運営委員会および各学会として取り組む支援や期待について議論いたします。日本社会福祉学会の秋季大会中のお昼の時間を活用して開催いたしますので、昼食持参のうえご参加ください。参加者の皆様からのインプットを期待しています。

6 日本学術会議の活動に対する支援と協力

日本学術会議社会学委員会社会福祉学関連分科会である「社会学委員会社会福祉学分科会」による研究活動を支援する。

7 事務局の事務委託

昨年度に引き続き、(株)国際文献社へ事務業務を委託する。

※2019年度の公開研究会は当初上記の通り予定しておりましたが、台風17号接近に伴う第67回日本社会福祉学会秋季大会二日目開催の中止を受け、延期といたしました。

延期したシンポジウムのご案内は、本ニュースレターの最後にご覧いただけますのでご覧ください。

日本社会福祉系学会連合事務局

日本社会福祉学会事務局内

〒162-0801

東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

TEL:03(6824)9385 FAX:03(5227)8631

Mai: union-jssw@kokusaibunken.jp

<http://jaswas.wdc-jp.com>

加盟学会一覧

社会事業史学会 日本保健医療社会福祉学会 日本介護福祉学会 日本家族療法学会
日本看護福祉学会 日本キリスト教社会福祉学会 日本子ども家庭福祉学会 日本在宅ケア学会
日本司法福祉学会 日本社会福祉学会 日本社会福祉教育学会 日本社会分析学会
日本職業リハビリテーション学会 日本精神障害者リハビリテーション学会
日本ソーシャルワーク学会 日本地域福祉学会 日本福祉介護情報学会
日本福祉教育・ボランティア学習学会 日本福祉文化学会 日本仏教社会福祉学会
日本保育ソーシャルワーク学会 日本保健福祉学会

日本社会福祉系学会連合補助金制度要項

2017年5月28日

1. 日本社会福祉系学会連合の加盟学会が活性化することを目的とし、毎年6月1日～翌年5月31日の期間において、外部の専門家（非会員）に講演等を依頼する場合の旅費の一部を補助する。
2. 補助の対象となる講演等の開催にあたっては、大会、シンポジウム、研修会等とし、補助金の額は、一回5万円を限度とする。
3. 補助金の申請を希望する学会は、所定の「日本社会福祉系学会連合補助申請書」に必要事項を記入し、『大会等プログラム』あるいは『大会等プログラム』（案）※を添えて、当学会連合事務局宛に提出し申し込む。
4. 補助金を受ける学会は毎年5学会を限度とする。
5. 補助金を受ける学会の選定および補助金額は、講演内容や補助を受けた回数などを勘案して、運営委員会で協議し決定する。
6. 補助金を受けることが決まった学会は、「日本社会福祉系学会連合旅費精算書」を領収書と共に当学会連合事務局宛に提出する。
7. 当学会連合事務局は受理した「旅費精算書」を確認した後、速やかに当該学会が指定する口座に補助金を振り込む。
8. 補助金を受けた学会は、大会等の開催後に報告書（報告記事）を提出し、学会連合の広報媒体に掲載、掲示について承諾するものとする。
9. 本制度は単年度制度であり、毎年総会前に開催される運営委員会において、決算状況に鑑みて次年度実施の可否を決定する。
10. この要項を変更するときは、総会の議決を経なければならない。

※募集期間に大会が行われた場合は『大会等プログラム』を、募集期間後に大会等が行われる場合は、『大会等プログラム』（案）を提出してください。

年 月 日

日本社会福祉系学会連合補助申請書

学 会 名	
代 表 者 名	
大会等日時	
場 所	
目 的	
申 請 額	円
申請額の根拠	

*大会等プログラム（案）を添えて、ご申請ください。

申請学会名 学会印

代表者名 印

連絡先（ご担当者名 ）

連絡先住所

TEL :

e-mail :

日本社会福祉系学会連合 公開研究会のお知らせ

テーマ：多様性時代における研究支援と学会のあり方

日時：2020年3月7日（土） 11:00～12:30（予定）

会場：東洋大学白山キャンパス8号館7階125周年記念ホール

少子高齢化人口減少社会にあって、学会においては、女性、若手、シニア、障がい者、被災者、生活困窮者、研究職以外の常勤者など多様な会員の研究を支援するニーズが高まっています。本公開研究会では、障害学会における合理的配慮の取り組みについて伺うとともに、加盟学会への調査から多様な会員への研究支援の実態や課題を明らかにし、日本社会福祉系学会連合運営委員会および各学会として取り組みうる支援や期待について議論いたします。

日本社会福祉学会の秋季大会中のお昼の時間を活用して開催いたしますので、昼食持参のうえご参加ください。参加者の皆様からのインプットを期待しています。

講演：「多様性時代の研究支援における合理的配慮
～障害学会の事例から～」

講師：中根成寿氏

京都府立大学准教授 障害学会理事・元事務局長
調査報告：社会福祉系学会における多様性時代の
研究支援の現状

* ご自由にご参加下さい

お問合せ union-jssw@kokusaibunken.jp